



ソフト日本「金」



13年ぶり頂点

米に2-0

米国を破って13年ぶりの金メダルを獲得し、喜ぶ上野(右)ら日本ナインー横浜スタジアム

東京五輪第5日の27日、ソフトボールの決勝で日本が米国を2-0で破り、前回実施された2008年北京五輪に続く金メダルを獲得した。

ソフトボールは1996年アトランタ五輪で採用され、日本は00年シドニー五輪「銀」、04年アテネ五輪「銅」と合わせ、実施4大会連続でメダルを手にした。

日本はあづま球場(福島市)で行われたオーストラリアとの初戦を8-1の五回コールドで快勝、第2戦のメキシコ戦では延長八回タイブレークの末3-2で勝ち、波に乗った。エース上野由岐子(39)とピッチカメラ高崎と後藤希友(20)とトヨタ自動車を中心に強さを発揮した。26日に米国の全勝対決に敗れて2位での決勝進出だったが、北京五輪でも頂点を争ったライバルを最後に破って再び栄冠をつかんだ。

ソフトボールは今回、野球とともに追加された。24年パリ五輪で再び実施競技から外れる。